

佳作

お友だちになったニールさん

入間市立扇小学校 5年

杉本 唯

私には、ニールさんという友だちがいます。かれは、カナダ出身で、背が高く、とてもハンサムな人です。ニールさんは、生まれつき目が不自由です。私は、どういう風に生活しているのかなあ、ごはんは一人で食べられるのかなと知りたいことがたくさんあふれました。「しょうがい」について、今まで深く考えていませんでした。学校では、「しょうがい」について、「くらしの中で、不便を感じたり、困ったりすることだ」と先生が教えてくれました。でもニールさんは、いつも笑顔で、明るくて、とても前向きな人です。私は、ニールさんとたくさんお話をしました。たとえば、家族の中で、目が不自由な人がいて、もうどう犬を3匹かっていることや、杖をしまう袋は、家族が作ってくれたこと。それからニールさんは、音楽がとても好きなことなど、私に心を開いて話してくれました。ニールさんと、英語で少しいっしょに話したり、正しい発音を教えてくれました。私はおりがみを教えました。目が不自由なのに、おりがみが折れたことをすごいと思いました。私はニールさんと話して、ニールさんのことをよく知ることができました。

心のやさしいニールさんと友だちになれてとてもうれしかったです。またニールさんと会いたいです。